

# OTOGAWA

愛知県岡崎市の乙川リバーフロント地区では、2015年から主要回遊動線「QRUWA(くるわ)」を中心に、豊富な公共空間を活用した複数の社会実験を通して、公民連携プロジェクトを立ち上げ、「QRUWA戦略」としてエリアの再生に取り組んでいます。

QRUWA 

自分たちの  
まちが  
できるまで

# GRAND

## QRUWA戦略 グッドデザイン金賞受賞！

乙川リバーフロント地区の公民連携まちづくり  
2023年度、9年目の取り組みを収録。

### CONTENTS

- 02 PROJECT SUMMARY / 2023年度QRUWAのあらまし
- 04 NEWS / シンポジウム開催
- 05 QURUWA PROJECT / QURUWA戦略改訂
- 07 QURUWA PROJECT-1.8 旧教育文化館解体・東岡崎駅エリアビジョン更新
- 08 SYMPOSIUM / QURUWAシンポジウム わたしが描く「ひがおかの未来」
- 11 QURUWA PROJECT-4 おひがわエリアビジョン更新
- 12 QURUWA PROJECT-10 QURUWA事業リノベーションスクール2023
- 14 QURUWA PROJECT-11 情報発信座談会「QRUWA発信みんなの座談会」
- 15 QURUWA PROJECT-12 回遊支援
- 16 RELATED PROJECT / 有料視察スタートしました！ 2023年度の都市再生推進法人
- 17 RELATED PROJECT / 2023年度「ふるさとづくり」音頭（キャンペーン）オフィス桜城橋
- 18 RELATED PROJECT / QURUWA出店情報2023
- 19 CONFERENCE / 2023年度QRUWAデザイン会議

Vol. 11



## プロジェクトサマリー

# 2023年度 QURUWAの まちづくり

2015年からはじまる乙川リバーフロント地区のまちづくり9年目となる2023年度。2020年から続く新型コロナウイルスの感染拡大も比較的落ち着き、政府は2023年3月13日から屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定しました。2024年の3月まで、少しずつこれまでの日常を取り戻そうとする、そんな奮闘の一年でした。

2023年度には、新たにQURUWAプロジェクトが追加されました。名古屋鉄道(株)と岡崎市が土地を共同化し、橋上駅舎、南北自由通路、バスターミナル、駅ビルの一体整備と「子

育て世代をはじめとした多世代に親しまれる」居場所をつくる事業である「東岡崎駅整備事業」(QURUWAプロジェクト8)。

南康生2丁目/3丁目を対象として、中央緑道を引き込むウォーカブルな空間づくりと都市型コンテンツにより、QURUWAの新しいライフスタイルをつくる エリアマネジメントを実施する事業「南康生エリアリノベーション事業」(QURUWAプロジェクト9)。

まちの潜在資源を活用して都市・地域の経営課題を解決を図る事業「リノベーションまちづ

くり事業」(QURUWAプロジェクト10)。

民間の投資や活動を誘導するため、QURUWAのブランディングと情報発信をおこなう事業「ブランディング&情報発信」(QURUWAプロジェクト11)。

QURUWA 地区内でモビリティ等を活用して回遊促進を図る事業「回遊支援事業」(QURUWAプロジェクト12)と、これまでの7プロジェクトから、12プロジェクトに増加しました。

1 QURUWAプロジェクト1  
ホテル・コンパニオンの整備・運営

2 QURUWAプロジェクト2  
桜城橋橋上広場・橋詰広場の整備・運営

3 QURUWAプロジェクト3  
東岡崎駅周辺の整備・運営

4 QURUWAプロジェクト4  
乙川のかわまちづくり

5 QURUWAプロジェクト5  
龍田公園・中央緑道の整備・運営

6 QURUWAプロジェクト6  
りぶら暫定駐車場の活用

7 QURUWAプロジェクト7  
道路空間の運営(康生・連尺・二七市通)

8 QURUWAプロジェクト8  
東岡崎駅整備事業

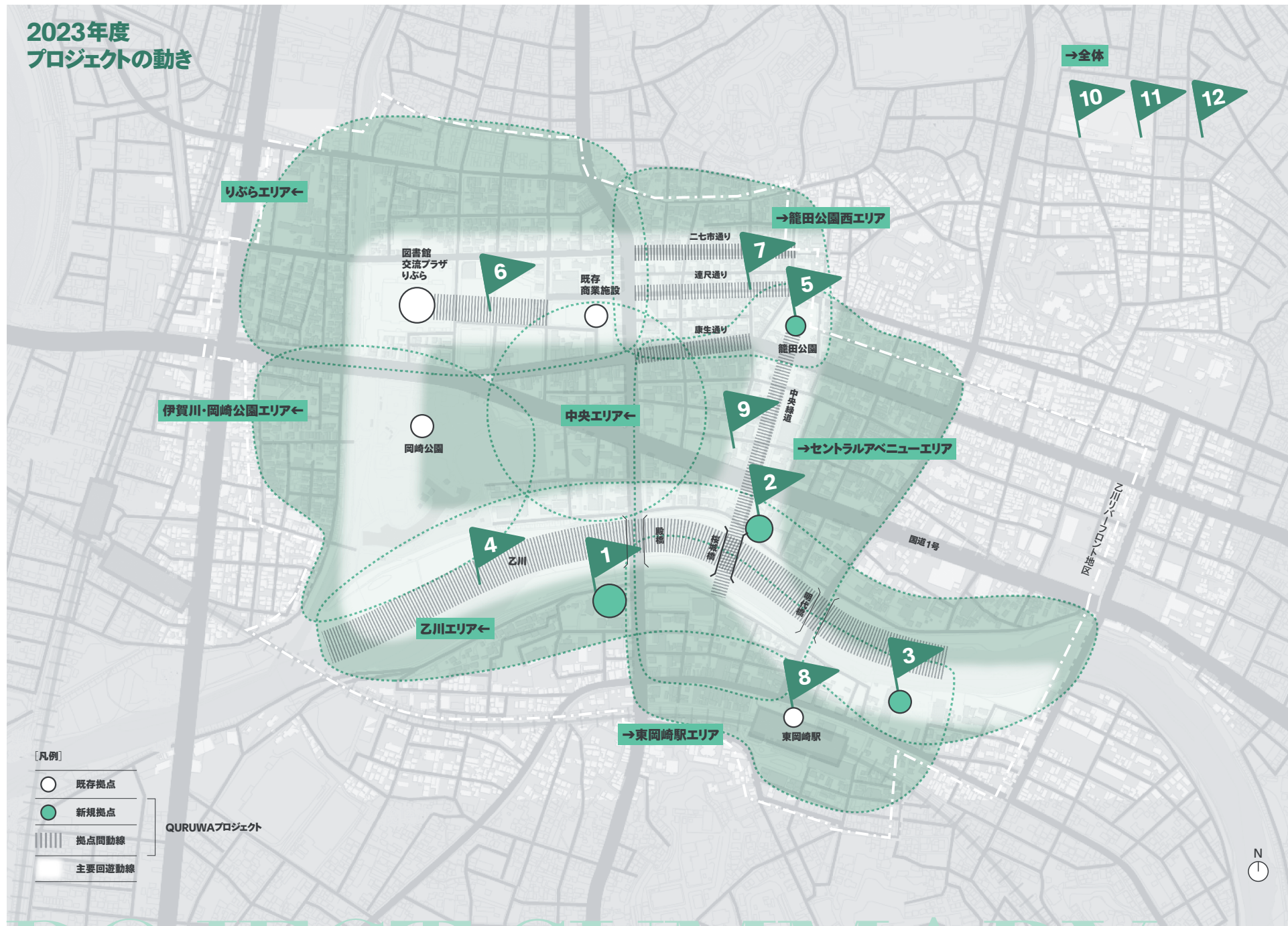
9 QURUWAプロジェクト9  
南康生エリアリノベーション事業

10 QURUWAプロジェクト10  
リノベーションまちづくり事業

11 QURUWAプロジェクト11  
ブランディング&情報発信

12 QURUWAプロジェクト12  
回遊支援事業

## 2023年度 プロジェクトの動き





# QURUWA、 グッドデザイン 金賞受賞

05

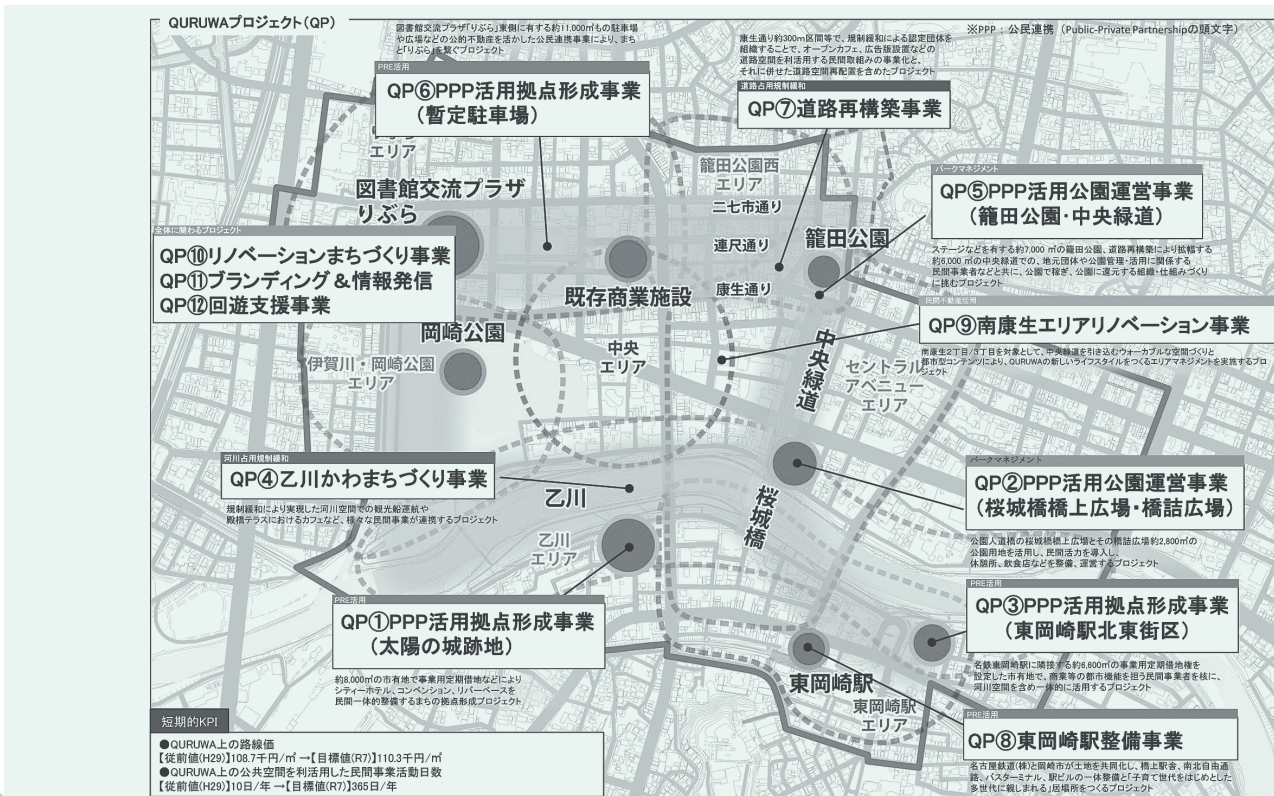
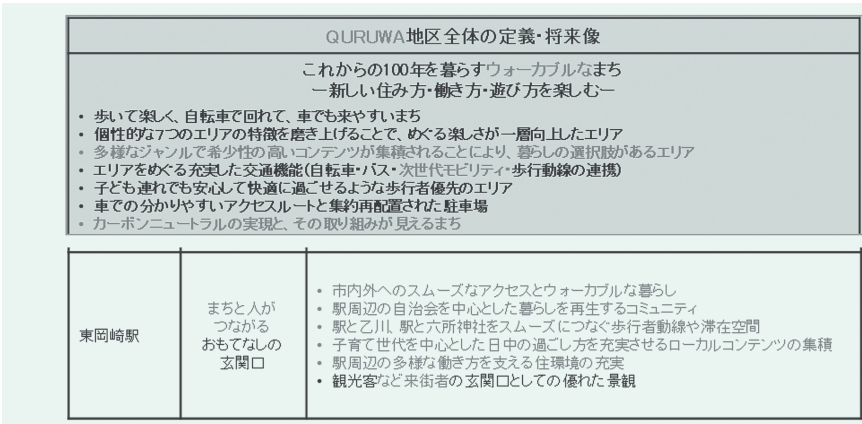
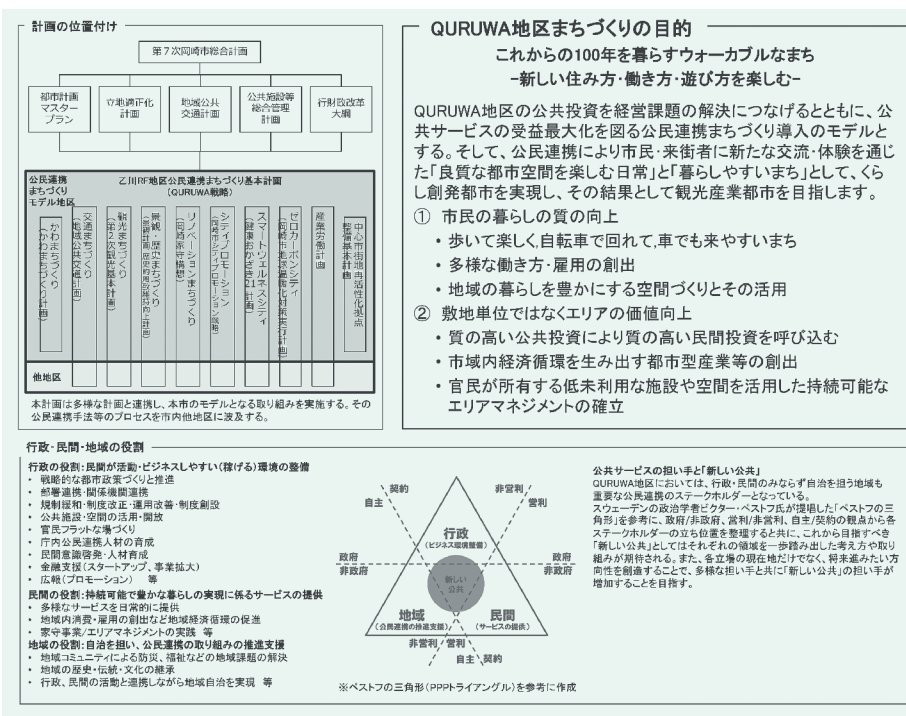


また、QRUWA戦略は暮らしの質の向上を目指すため、将来都市像として「くらし創発都市の実現」を明記しました。「くらし創発都市の実現」とは、ある要素の集合が単なる「その集まり」ではなく「異なる様相」になるという意味の「創発」という言葉をふまえて、QRUWAのなかで人々のくらしが「生活の集まり」を超え、その集合によって「内外の人にとって魅力的な都市」になることです。トップダウンの「都市計画」とも、ボトムアップの「まちづくり」とも違い、人々の自分らしい暮らしとまちへの思いがかけあわさって生まれる都市を目指します。

- 行政のみならず、公民連携まちづくりにおける、民間と地域の役割を整理しました。
- スウェーデンの政治学者ビクター・ベストフ氏が提唱した「ベストフの三角形」を参考に、地域、民間、行政それぞれが目指すべき「新しい公共」の担い手としての立ち位置を整理しました。

## ■ 将来像や定義

- QURUWA地区全体や各エリア、拠点、拠点間動線の「定義」や「将来像」を更新しました。
- 当計画の進展や時代の変化に伴い、QURUWA地区全体の定義・将来像を見直しました。
- 2023年度時点で、整備に向けて動いている東岡崎駅エリアをはじめとしたエリアビジョンの更新をおこないました。

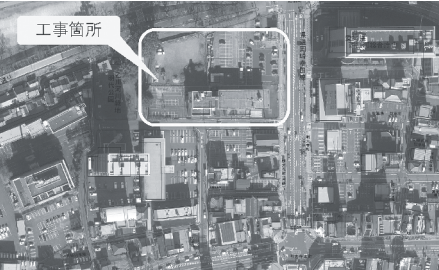


## 新たな公民連携事業

# QURUWAプロジェクト-1 旧教育文化館 解体

太陽の城跡地におけるホテル・コンベンションの整備に関する協議について、2023年2月に優先交渉権者との協議は中止となり、同6月には次点交渉権者より次点交渉権の辞退の意思表示がありました。

契約に向けた交渉の相手方がなくなったことにより、2019年9月から進めてきた事業者の公募については一旦終了となっています。社会情勢や企業活動の変化・動向を見極め



ながら、再公募について検討をしていきます。

本来であればこの交流拠点の整備と併せて解体工事をおこなうはずだった旧教育文化館等について、景観・防犯・防災・安全性などの観点から、時期未定の再公募を待つことなく、解体を進めるべく、2023年9月の市議会定

例会に解体工事に係る予算を提出し、議決されました。

また、同じく2023年12月の市議会定例会において本解体工事に係る契約についても議決を頂きましたので、2024年1月から旧教育文化館を解体いたしました。

# QURUWAプロジェクト-8 東岡崎駅 エリアビジョン 更新

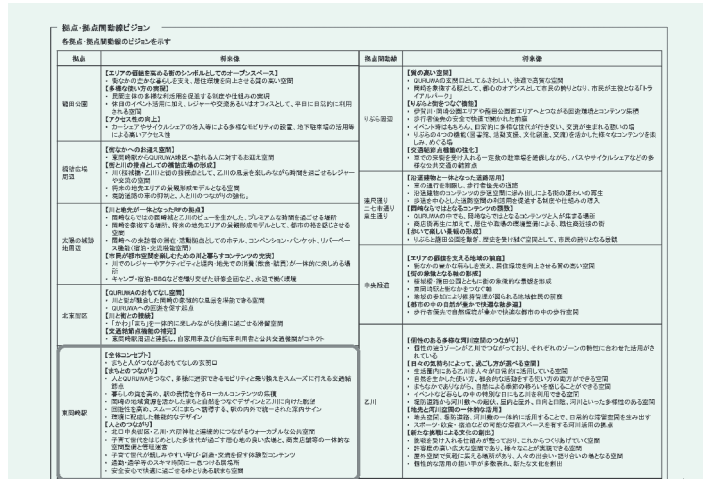
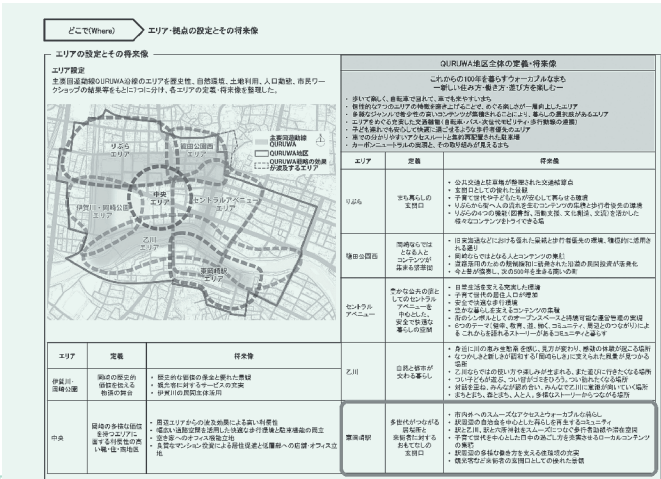
**岡崎市HP**



**QURUWA戦略 (p.8, p.11)より**



東岡崎駅エリアのこれからを描くビジョンを更新しました。「エリアの設定とその将来像」として、東岡崎駅エリアの定義は「多世代がつながる居場所と来街者に対するおもてなしの玄関口」。



## 将来像

- 市内外へのスムーズなアクセスと  
ウォーカブルな暮らし
- 駅周辺の自治会を中心とした  
暮らしを再生するコミュニティ
- 駅と乙川、駅と六所神社をスムーズにつなぐ  
歩行者動線や滞在空間
- 子育て世代を中心とした日中の過ごし方を  
充実させるローカルコンテンツの集積
- 駅周辺の多様な働き方を支える  
住環境の充実
- 観光客など来街者の玄関口としての  
優れた景観

## 拠点・拠点間動線ビジョン

## 全体コンセプト

- まちと人がつながるおもてなしの玄関口
- まちとのつながり
- 人とQURUWAをつなぐ、











QURUWAプロジェクト-10

# QURUWA事業 リノベーション スクール2023

昨年度も開催した「QURUWA事業リノベシ  
ンスクール(以下、「事業リスク」)、2023年度の様  
子を以下にお伝えします。

開催：7月31日[水]ー1月22日[水]の期間中に  
全6回 | 各回13:00ー18:00頃  
参加事業者数：10社

岡崎市は、QURUWA地区にいろいろな人が  
訪れられる多様なコンテンツが集積し、寛容  
性を持つ地区となることを目指しています。「事  
業リスク」とは、地域や参加者同士で「オー  
プンイノベーション」をキーワードに連携し本気  
の企業のみなさんが多彩なゲストとともに自  
社事業のリノベーション(更新・向上)や新規事  
業の構築にトライアルするための機会です。

昨年に引き続き2023年7月から2023年12  
月まで計6回実施！今回は、昨年度の参加者  
からのフォローアップもありました。QURUWA  
のまち歩きや、ゲストや令和4年度参加者によ  
るレクチャー、自社企画の検討やプレゼンテー  
ションなど、各回のプログラムを経て、2023年

12月21日[木]には各社による発表がおこなわ  
れました。

## 参加した7社による提案

### 1 | 小野ふとん店

「(株)小野ふとん店」がある明大寺本町は、近  
年、昼間の賑わいが少なくなり、住民の減少  
や高齢化を課題としています。子どもの声が  
溢れ、人々の交流がおこなわれる街を目指し、  
子どもが主役の職業体験施設やファミリー向  
けの賃貸マンション建設といった自社敷地を  
活用したエリアリノベーションを具体的なスケ  
ジュールと合わせて提案しました。

### 2 | スノーピークビジネスソリューションズ

「(株)スノーピークビジネスソリューションズ」  
は、人や自然をつなぐシェアハウス「ouchi」  
の運営を提案しました。QURUWA地区の空  
き家を岡崎市の中山間地域額田の木材を活  
用して社員や住人でセルフリノベーションし、  
持続可能な心地よい暮らしをデザインするこ  
とで移住や地域企業の採用、定着の促進が  
期待されます。すでに住人候補は決まってお  
り、顔が見えている状態。現在は物件を探し  
ており、2024年4月のオープンを目指してい  
るとのことでした。

### 3 | 大冷工業

空気や水の道をつくる「大冷工業(株)」は、瞬



間冷凍デモ機を購入して手にした技術を活か  
し、QURUWA地区の飲食店と協力して「丘  
の途中のマーケット」に出店したり、大型トラッ  
クにサウナを乗せたサウナトラックとコラボし  
て瞬間冷凍のドリンク開発などを進めてきまし  
た。加えて今後は自社の敷地を駐車場として  
貸し出し、その利益をQURUWAに再投資し  
ていきます。

### 4 | 岡崎まち育てセンター・りた

「(特非)岡崎まち育てセンター・りた」は、  
QURUWA地区の課題として住まいの選択  
肢が少ないことを、そして西梅園地区の課題  
として空き家の増加や少子高齢化に加え、路  
地に面していない後背敷地の建設可能性が  
なくなることや、木造密集のため災害時のリス  
クが高いことを挙げました。  
それらをまとめて解決する手段として、空き家  
を活用した住まいの受け皿づくりを、そして将  
来的には無接道敷地の解消および空き家活  
用を実現し、そのモデルを市内他地域へ展開  
することを提案しました。



### 5 | SCENES

主にウェディング事業や人生の節目のお祝いの  
プロデュースを手がける「合同会社SCENES」  
は、岡崎ならではのオリジナルウェディングとし  
て、中山間部額田のみつわ広場や天使の森、  
またQURUWA地区にあるお店や菅生神社、  
桜城橋などのまちの資源をフルに活用した  
ウェディングを実施しました。今後は、10年後  
までの未来の自分たちに手紙を届けるサービ  
スを家族写真撮影に付加し、過去と今と未来  
を繋ぐサービスや、結婚準備が楽しくなるよう  
なプログラムを実施予定です。

### 6 | つばさ交通

旅行会社の「つばさ交通(株)」は、QURUWA  
地区にて自社栽培を始めたしたいけの販売  
や、しいたけ狩りや岡崎市の山田農園の有機  
野菜収穫を体験できるツアーの企画をしまし  
たが、バスの使用による価格上昇や集客の難  
航により決行ができず、トライしたからこそ課  
題がより明確になり次のアクションにつながり  
ました。しいたけ販売については店頭看板を

設置することで認知が広まり、販売数が格段  
に上昇。今後はよりブランディングを意識した  
パッケージの変更を実施するとともに、自社の  
インフラとしてバスを活用したシェフによる調  
理を付加した収穫体験ツアーやサウナツアー  
の開催を検討します。

### 7 | 山田農園

「(株)山田農園」は、カレーに使う野菜を例に  
挙げてそれぞれの収穫時期にはズレがある  
ことに触れ、一般の人々の農業への理解が低  
いことを課題として挙げました。そこで、農業へ  
の理解者を増やすために、QURUWA地区に  
「街中農園」をつくる、畑づくりのプロデュ  
ース事業を提案しました。今年度は、籠田公園  
と桜城橋の間に位置する中央緑道沿いの複  
合施設「偶偶 GUUGUU」と、隣接する「オー  
カジェラート」の駐車スペースとの隙間に、  
オーカジェラートで使用する野菜、果物を栽  
培する畑をつくりました。今後はスノーピーク  
ビジネスソリューションズの社員寮に街中農  
園をつくることを展望しています。

## 昨年度の参加者4社による進捗

### 8 | マルサ

昨年から引き続いて参加の「(株)マルサ」は、  
今年10月にジェラート屋「オーカジェラート」を  
「偶偶 GUUGUU」1階にオープン。夏のオー  
プンを逃したものの、初月は暖かい気候と  
SNS効果もあり高収益。ところが11月中旬か  
らの寒気により売り上げが急降下。冬をどう  
乗り越えるかを今後の課題として挙げ、スノ  
ーピークビジネスソリューションズと協力しこ  
たつの製作および中央緑道への試験的な設置  
などを提案しました。

### 9 | コネクトスポット

「孤独感のある人」と「まち」をつなぐ福祉サ  
ポートをおこなう「NPO法人コネクトスポット」  
は、その活動が市民にとって身近に捉えづら  
く、オープンイノベーションが起こしにくいことを  
課題として挙げました。アクティブな人だけ  
でなく、まちの全ての人と接点を持つことを目  
的とし、昨年度は自分らしさや周りの人を大切  
にするための「いいんだよカード」を制作、配布。  
今年度は誰でも移動販売ができる車を購入、  
今後はシェアカー「ゆるくる」として利用し、それ  
を通じて課題解決するためのコミュニティをつ  
くっていく提案をしました。現在はコラボできる

方の募集に加え、2024年2月まではトライ  
アルでゆるくるの無料貸し出しを実施しています。

### 10 | ドゥーラステーションめぐる

昨年度参加の「(一社)ドゥーラステーションめぐ  
る」は、引き続き産後ケアの利用促進・子育て  
支援の質向上を目的として、今年度は法人化、  
行政の産前産後ヘルプサービスへの参入準  
備、ドゥーラ養成講座の開設をおこない、2024  
年1月にドゥーラステーション「QURUWA こそ  
だてひろば tetowa」(以下、「tetowa」)を共同  
でりぶら北西に開所することを発表しました。  
tetowaのお昼寝部屋には、小野ふとん店が  
寝具を提供。今後も企業と連携し徐々に設備  
を充実させることや、行政との相互連携により  
市民サービスの向上を図り、岡崎市の子育て  
環境を整えることを課題として挙げました。

### 11 | タイノベーション

「タイノベーション(株)」は昨年度の参加で、  
QURUWA地区内の後継のいないお店の承  
継や、中山間地域の間伐材を利用した照明  
器具制作、PR動画製作の事業化を提案しま  
した。今年度は、地方の先進地に何度も足を  
運び視察し、また間伐材の根深い課題に対し  
て「ShopBot」という木材の加工ができる機  
械を導入することでいろんな人が山の問題に  
触れるきっかけづくりを目指しています。また、  
既存顧客に木質化を提案する際、山での間  
伐体験と植林をすることを絶対条件とし、人々  
と山との距離が縮まるよう働きかけています。

後半では、座談会もおこなわれました。



#### QURUWAウェブレポート



前半



後半

#### 実案件



オーカジェラート



tetowa



偶偶



各社による発表



座談会



# QURUWAプロジェクト-11 情報発信座談会 「QURUWA発信 みんなの座談会」

2024年2月9日、QURUWAの情報発信に  
関する悩みや考えをお互いに持ち寄り、自由に話  
をできる座談会を **Camping Office osoto**  
**Okazaki**にて開催しました。

Instagramを開くと、QURUWAにまつわる  
情報を発信しているアカウントがいくつもありま  
す。それを見るだけでも、このQURUWA地区  
に関する情報発信を担当している人がさまざ



## ご参加のみなさん

①	<b>Micro Hotel ANGLE</b> (籠田公園前のホテル経営とまちの発信)	飯田さん	QURUWAウェブの「あの人のトライ」「探索」担当 名鉄東岡崎駅内のQURUWAお知らせ掲示板の更新担当
②	<b>ONERIVER</b> (乙川を拠点にした市民団体)	山田さん	QURUWAウェブのイベント情報担当 図書館交流プラザりぶらのQURUWAお知らせ掲示板の更新担当
③	<b>株式会社都市機能計画室</b> (まちのリサーチと提案実装)	榊原さん	QURUWAウェブの構築と運用監理
④	<b>株式会社Q-NEXT</b> (自治会連合から派生したまちづくり会社)	柏木さん	自治会の出来事を発信
<b>7町・広域連合会 次世代の会</b>			
⑤	<b>一般社団法人 岡崎市観光協会</b>	梅澤さん、麻生さん	「岡崎出かけナビ」など観光に関する発信
⑥	<b>ホームメックス株式会社</b> (指定管理者)/ <b>リバーライフ推進委員会</b>	寺田さん	籠田公園や乙川の様子を発信
⑦	<b>一般社団法人岡崎パブリックサービス</b> (指定管理者)	清水さん	岡崎公園の様子を発信
⑧	<b>株式会社まちづくり岡崎</b> (都市再生推進法人)	長谷川さん、阿部さん	「ぼけろーかる」「こりん」など地域密着情報の発信
⑨	<b>株式会社スノーピークビジネスソリューションズ</b> (組織及び地域活性化のための各種研修事業など、指定管理者)	磯貝さん	「Camping Office osoto」とまちの活動を発信
⑩	<b>岡崎市 拠点整備課</b>	津田さん、田中さん	東岡崎駅(HIGAOKA_2030)の発信
⑪	<b>岡崎市 公園緑地課</b>	森さん、石川さん、林さん	岡崎市内の公園にまつわる発信
⑫	<b>岡崎市 まちづくり推進課</b>	中川さん、高橋さん	QURUWAに関する発信

まいることがわかります。ところが、その発信を  
担当する人たちが集まって情報交換や交流を  
する機会はいままで多くありませんでした。

今回は話しやすいように、くじ形式でお題を用  
意し、「みんなに聞いてみたいこと」「みんなと  
やってみたいこと」「みんなに伝えたいこと」の  
3つについて、みんなでお話をしていきました。

「ネタ切れで困っているけれど、どうやって情  
報収集をしていますか?」「「会議に参加しまし  
た」とあげてもあんまり「いいね」がつかない」  
「整備されたエリアのその先の使い方を提案  
や紹介していくような発信がしたい」「このエリ  
アに足りないものをいれていきたい」「専門性  
や知識をすぐ持つてる人、物を修理する技術  
がすごい人などをどう伝えていったらいいの

かな」などなど、キャンプのような雰囲気の中  
で、みんなざっくばらんにお話や情報提供が  
ありました。

各々が「人」を通してまちの魅力を伝える記事  
を発信していることを共有し合い、さらに乙川  
を拠点にした市民団体「ONE RIVER」山田  
さんは、QURUWAウェブサイトのイベント情  
報発信を担当していることもあり、「ぜひ積極  
的にイベント情報を提供いただければと思っ  
ています」と情報発信を呼びかけていました。

## QURUWAウェブレポート



# QURUWAプロジェクト-12 回遊支援

**QURUWA戦略(乙川リバーフロント地区公民連携ま  
ちづくり基本計画)**では、その将来像「**これからの  
100年を暮らすまち ～新しい住み方・働き方・遊  
び方を楽しむ～**」を実現するための目標の一つ  
として「**歩いて楽しく、自転車で回れて、車でも来  
やすいまち**」を掲げています。ゆえに、「**歩きたく  
なる＝ウォーカブル**」な都市であること、そして地  
区内をめぐる「**回遊性**」が向上することが求めら  
れています。

魅力的な拠点や動線が生まれ育つQURUWA  
地区では、徒歩のみならず、自転車、バス、次  
世代モビリティ、歩行動線の連携などエリアを  
めぐる充実した交通機能によって、QURUWA  
で暮らす人も、働く人も、外から訪れる人も、一

人ひとりの移動ニーズに合わせた選択肢が  
増えていて、もっと身近に、もっと気軽に、もっ  
と楽しくQURUWAをめぐる環境づくりをすす  
めています。

代表的な取り組みとして、サイクルシェアがあ  
ります。岡崎市では2017年から、HELLO  
CYCLINGによるサイクルシェア事業がス  
タート。当初は試行錯誤しながらトライし始め  
たこの事業も、東海オンエアファンの聖地巡  
礼のツールとしても利用されるなど、気づけば  
「HELLO CYCLING」の利用者数が全国  
トップになるほど使われています。

## 参考記事



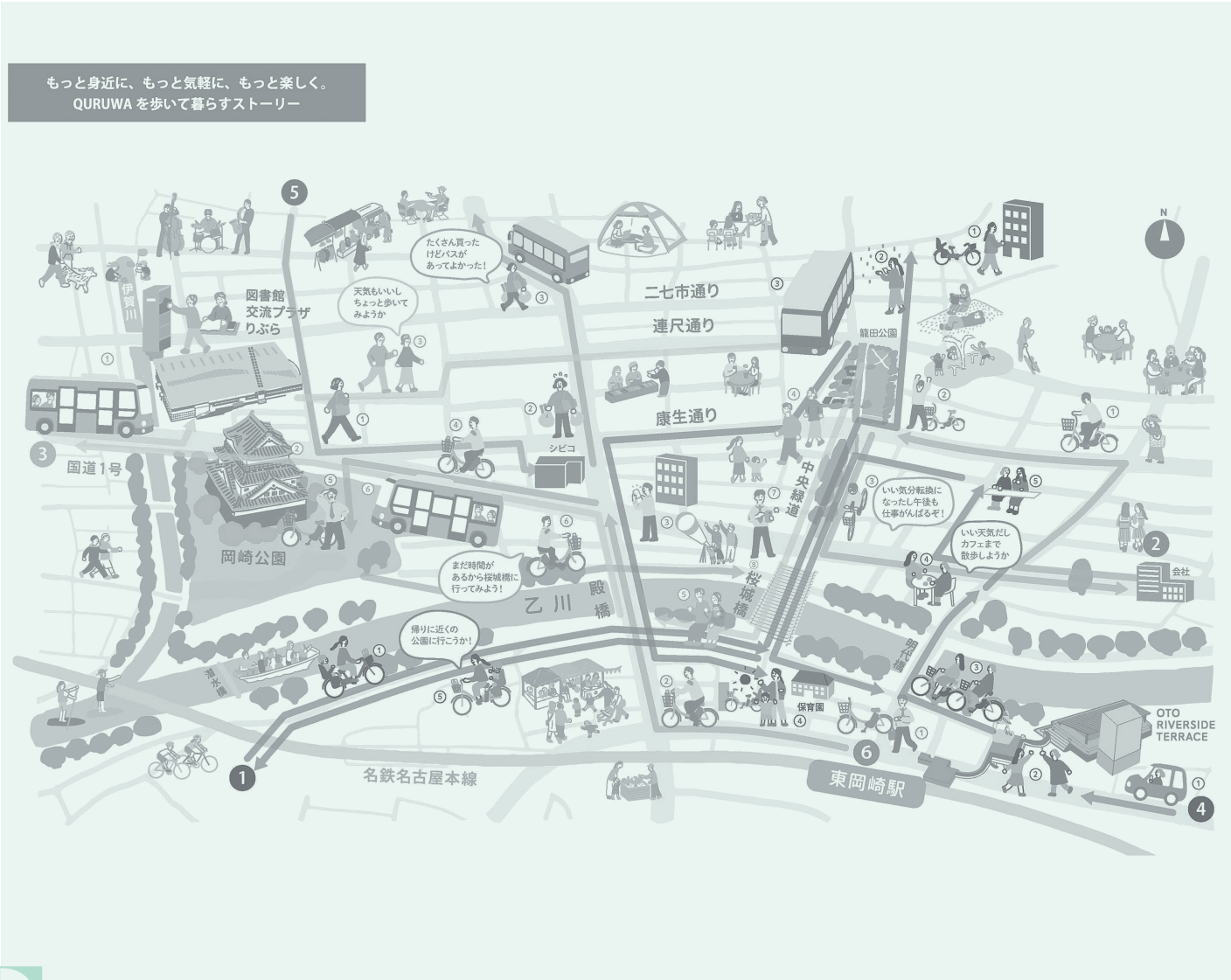
また、駐車場は自動車という重要な交通を支

える機能である一方で、無秩序に散在する駐  
車場は、人と車の交錯が生まれ危ないほか、  
まちなみの連続性を損ない、まちの魅力を低  
下させます。

駐車場の集約化や、駐車場の緑化、まちづく  
りに資する用途への転用など、全国的にも駐  
車場のあり方が見直されています。

2023年度は「歩いて楽しく、自転車で回れ  
て、車でも来やすいまち」を目指すため、駐車  
場をQURUWAの入口と見立てて、駐車場  
が連担する場所にサイクルシェアのポートを  
設置してみて、車から自転車への乗換促進を  
促す取り組みを実験的におこないました。

電動キックボードや、シェアカー、または将来  
には自動運転など多くの交通サービスが生ま  
れていくなか、人が回遊するウォーカブルなま  
ちを目指して回遊プロジェクトに取り組んでい  
きます。





## 関連プロジェクト

# 有料視察、スタートしました

これまで行政が無料で対応していたQRUWAの視察を有料化しました。視察を希望される方々それぞれの関心によりそうことができる複数のプランを用意しています。

視察を民間事業化し、官民の窓口を一本化し、より分かり易く受付/調整ができるようにしています。そのため、官民双方の話を同時に各実践者から聞くことができることがこの視察の最大のメリットです。

視察の収益は、QRUWAに再投資しています。

詳細はこちら



QRUWAウェブ  
「QRUWA」と、  
でもご案内しています



## 関連プロジェクト

# 2023年度の都市再生推進法人

岡崎市HP



現地視察



岡崎市「QRUWA戦略」視察 | リノベーションまちづくりについて

【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「QRUWA戦略における新しい観光"暮らし観光"について」で...

@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名

# 地域活性化 # まちづくり # 公民連携 # リノベーション # QRUWA

詳細・予約

110,000円



岡崎市「QRUWA戦略」視察 | 新しい観光"暮らし観光"について

【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「QRUWA戦略における新しい観光"暮らし観光"について」で...

@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名

# 地域活性化 # まちづくり # 公民連携 # 宿泊 # ブランディング # QRUWA

詳細・予約

110,000円



岡崎市「QRUWA戦略」視察 | 自治会主催のエリアマネジメントについて

【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「QRUWA戦略における自治会主催のエリアマネジメント」...

@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名

# まちづくり # 公民連携 # エリアマネジメント # 市民活動 # 自治会 # QRUWA

詳細・予約

110,000円



岡崎市「QRUWA戦略」視察 | 乙川のかわまちづくりについて

【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「QRUWA戦略における乙川をフィールドとした"かわまちづくり"について」...

@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名

# まちづくり # 公民連携 # 市民活動 # 市民団体 # QRUWA

詳細・予約

110,000円



岡崎市「QRUWA戦略」視察 | 官民それぞれの目線で語るQRUWA戦略概要説明

【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは「行政・民間それぞれの立場から行うQRUWA戦略の概略紹介」...

@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名

# 地域活性化 # まちづくり # 公民連携 # リノベーション # 観光 # PPP # 公園

# ブランディング # QRUWA

詳細・予約

110,000円

選べる現地視察



複数テーマから学ぶ、岡崎市「QRUWA戦略」視察

【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき18,700円追加となります。■QRUWA戦略とは2023年度「グッドデザイン金賞（上位20位）」を受賞した、公民連携まちづくりで評価される「QRUWA戦略（愛知県岡崎...」

@愛知県 岡崎市 | 4.5時間 | 1-50名

# 地域活性化 # まちづくり # 公民連携 # リノベーション # 観光 # PPP # 公園

# ブランディング # QRUWA

詳細・予約

187,000円

都市再生推進法人とは、まちづくりに関する豊富な情報・ノウハウを有し、運営体制・人材等が整っている優良なまちづくり団体に公的な位置づけを与え、あわせて支援措置を講ずることにより、その積極的な活用を図る制度です。2023年度に、ひとつの指定、そしてひとつの取り消しがありました。

都市再生推進法人には、市町村や民間デベロッパー等では十分に果たすことができない、まちづくりのコーディネーター及びまちづくり活動の推進主体としての役割を果たすことが期待されます。

- 2023年度の指定 | 株式会社 Q-NEXT
- 2023年度の取り消し | 株式会社 三河家守舎

法人の名称	法人の住所/事務所の所在地	指定日
1 特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター	岡崎市梅岡町字3丁目6番地6	令和元年5月22日
2 株式会社まちづくり岡崎	岡崎市康生通東1丁目21番地	令和元年5月22日
3 株式会社 Q-NEXT	岡崎市康生通東2丁目44番地	令和6年3月27日

## 関連プロジェクト

# オリジナル「えびすくい音頭」

大河ドラマ「どうする家康」に、三河武士が踊る(えびすくい)のシーンがたびたび登場します。家康公生誕の地・岡崎から、家康公ゆかりの地そして現代へ! 家康公をキーワードに踊りてつながるプロジェクトとして「えびすくい音頭」を考案。QRUWA7町・広域連合会が中心となっておこなうQRUWA夏祭りをかわきりに、さまざまな場所で踊りました。

主体: QRUWA夏祭り実行委員会、岡崎城下家康公夏祭り実行委員会



Instagram



QRUWA夏祭りHP



## 関連プロジェクト

# Camping Office 桜城橋



気軽に外に持ち出せるキャンプ道具を利用して、屋外で自然を感じながら気持ちよく働く新しいワークスタイル“キャンピングオフィス”。本市と協定締結している(株)スノーピークビジネスソリューションズにより外で働くをテーマに桜城橋にてキャンピングオフィスをスポット

開催しています。

osotoウェブ



Instagram



QRUWAウェブ

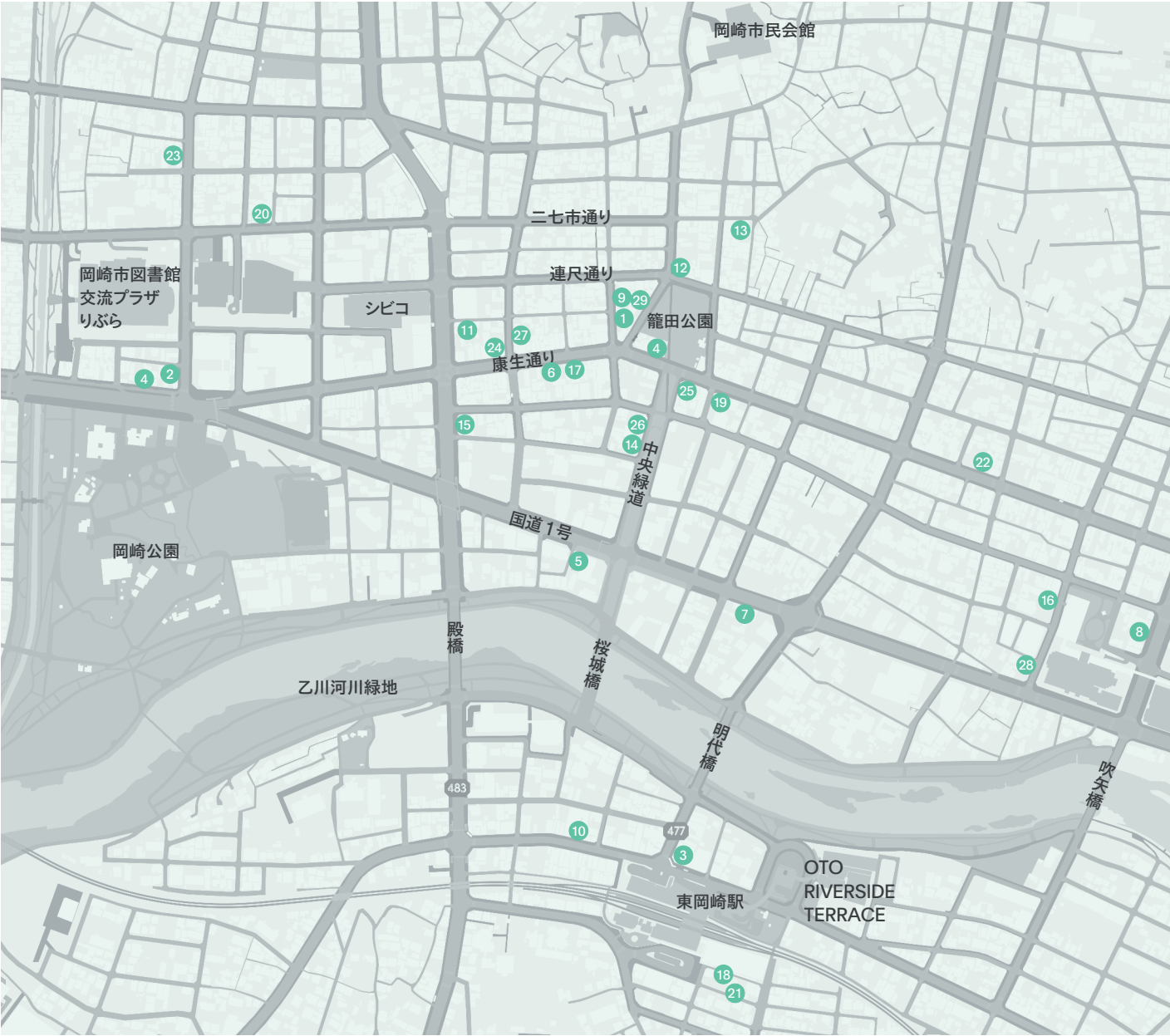




関連プロジェクト

QURUWA  
出店情報

QURUWAではさまざまな店舗が新しくオープンしたり、移転したりしています。2023年度（2023年4月から2024年3月）には、以下のお店が新たにQURUWAの日常をつくっています。



2023年

- 1 JAN DARA RIN | アパレル
- 2 ANUENUE CAFÉ | 猫カフェ
- 3 番い -tsugai- | 中華そば、おにぎり
- 4 DINING MASHIRA | 洋食レストラン
- 5 greenshop teto | 多肉植物専門店
- 6 金のうま | スイーツ&馬肉セレクトショップ
- 7 PICHU | クラブ
- 8 おむすびの十楽 | おむすび屋
- 9 SUNNY & SUNNY | 沖縄タコス&タコライス専門店
- 10 OMEN 東岡崎店 | 水たばこ

- 11 レグンボーゲ | 古着屋
- 12 とんかつ しば太 | とんかつ(期間限定)
- 13 今からスイーツ | スイーツ
- 14 オーカジェラート | ジェラート
- 15 チョコザップ | ジム
- 16 Quiet Village | ダイナー
- 17 TERAKADO COFFEE ニューヨーク店 | カフェ
- 18 カリトロ | たこ焼き
- 19 黒牛 muranokajiya | 焼肉店
- 20 こそだて広場 tetowa | ドウーラ(産前産後ケア)

- 21 焼肉酒場 Takamiya | 焼肉酒場
- 22 ラーメンストックTOKYO 岡崎伝馬通店 | ラーメン
- 23 シェア型私設図書館&ワークショップスペース MAYU | 私設図書館
- 24 メロンラボ岡崎康生通店 | メロンパン専門店
- 25 北欧食堂モールドテイド | 北欧食堂
- 26 人々 | 焼き菓子
- 27 ウナギの成瀬 | うなぎ屋
- 28 フラワーショップ「dress」 | 花屋
- 29 TAKO QUEEN | たこ焼き

会議

2023年度  
乙川リバーフロント地区まちづくり  
デザイン会議

デザイン会議とは、QURUWAプロジェクトへの提案・助言・評価とともに、  
公民連携と都市デザインのクオリティコントロールをおこなうため、  
まちづくり専門家と主要まちづくり4部局等から構成された戦略会議体のことです。

●メンバー

「乙川リバーフロント地区まちづくり  
デザインアドバイザー」

清水義次 | 株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役

藤村龍至 | 東京藝術大学准教授

西村浩 | 株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役

伊藤孝紀 | 名古屋工業大学大学院准教授

長谷川浩己 | 有限会社オンサイト計画設計事務所

「民間事業者」

「岡崎市職員」

「QURUWA7町・広域連合会関係者」

(2)南康生家守舎「GUUGUU」について

(3)QURUWAシンポジウムについて

ーわたしが描く『ひがおかの未来』ー

(4)グッドデザイン賞について

●議題2：QURUWA戦略の更新

(1)QURUWA戦略更新

・波及エリア拡大ルールについて

・公民の各役割について

(2)太陽の城跡地暫定活用の進め方について

・目的、コンセプトについて

・体制について

●第1回

日時：2023年7月31日[月]13:30-16:00

場所：岡崎市役所西庁舎7階701会議室

●議題1：情報共有(令和5年度事業)

(1)令和5年度主要事業スケジュール

(2)グッドデザイン賞へのエントリーについて

(3)視察事業化について

(4)太陽の城跡地の今後について

(5)桜城橋と殿橋テラスの今後について

(6)7町・広域連合会と次世代の会について

(7)QURUWAシンポジウムについて

(8)東岡崎駅エリアのロゴについて

(9)公民連携レクチャーについて

●議題2：清水義次氏レクチャー

「真の公民連携とは」

●議題3：QURUWA戦略の更新

(1)エリア拡大について

(2)何のために(Why)の更新について

(3)どうやって(How)+誰が(Who)の再編について

「目指す都市像」について

(2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、  
乙川河川緑地の状況を踏まえた  
今後の方向性について

●第2回

日時：2023年10月10日[火]13:30-16:00

場所：岡崎市役所西庁舎7階701会議室

●議題1：情報共有(令和5年度事業)

(1)QURUWA地区固定資産税の推移について

●第3回

日時：2023年11月15日[水]13:30-14:50

場所：岡崎市役所西庁舎7階701会議室

●議題：QURUWA戦略の更新

(1)行政と民間、さらに地域の役割分担について

(2)目指す都市像について

(3)波及エリア拡大ルール

●第4回

日時：2024年2月15日[木]13:30-14:50

場所：岡崎市役所西庁舎7階701会議室

●議題：

(1)QURUWA戦略の改訂における

「目指す都市像」について

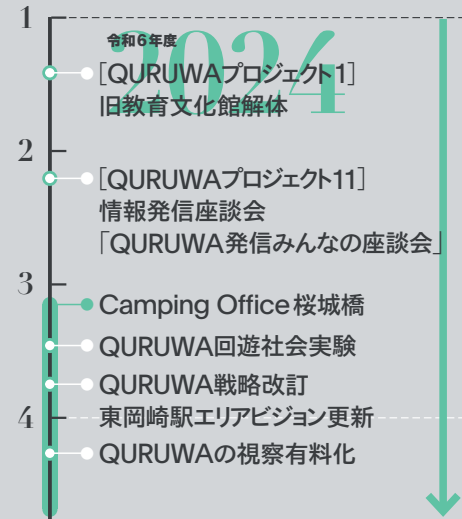
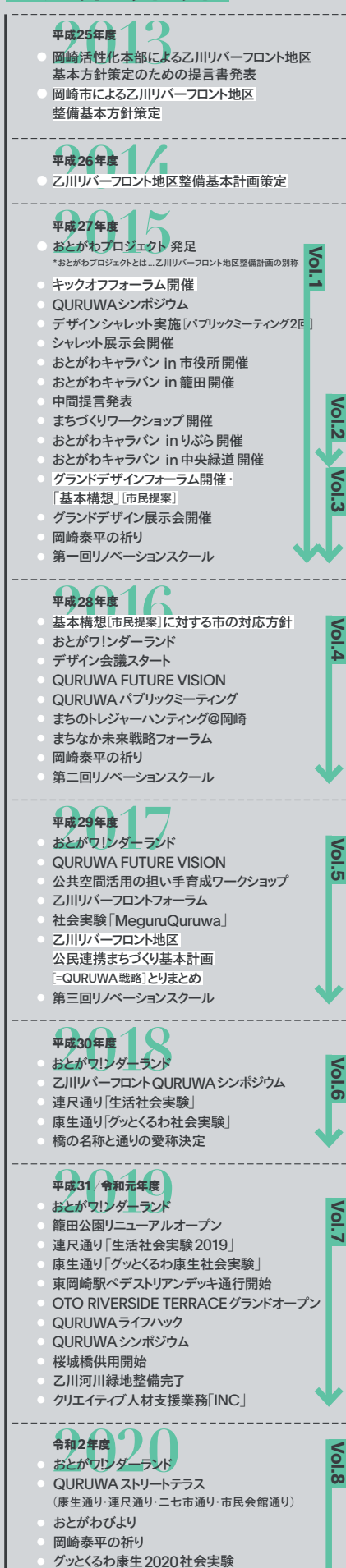
(2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、  
乙川河川緑地の状況を踏まえた  
今後の方向性について





# PROJECT TIMELINE

## プロジェクトのタイムライン



## BACK NUMBER

### Vol.1

キックオフフォーラム  
シンポジウム  
デザインシャレット  
中間提言書

### Vol.2

キックオフフォーラム  
シンポジウム  
デザインシャレット  
中間提言書

### Vol.3

おとがわプロジェクトの  
全体像  
グランドデザインフォーラム  
市民インタビュー

### Vol.4

おとがわプロジェクトの全体像  
リノベーションまちづくり  
かわまちづくり  
基本設計ワークショップ  
シンポジウム  
まちのトレジャーハンティング  
フォーラム  
パブリックミーティング  
3つの会議

### Vol.5

「特集」  
QURUWA 戦略  
乙川リバーフロント地区の  
まちづくり3年目の取り組み

### Vol.6

「特集」  
暮らしを豊かにする  
まちの使い方は  
乙川リバーフロント地区の  
まちづくり4年目の取り組み

### Vol.7

「特集」  
進むQURUWAプロジェクト  
乙川リバーフロント地区の  
まちづくり5年目の取り組み

### Vol.8

「特集」  
公から民へのシフトチェンジ  
乙川リバーフロント地区の  
まちづくり6年目の取り組み

### Vol.9

「特集」  
ブランディング &  
情報発信、始動  
乙川リバーフロント地区の  
まちづくり7年目の取り組み

### Vol.10

「特集」  
躍進する自治会主体の動き  
乙川リバーフロント地区の  
まちづくり8年目の取り組み

## CREDIT

発行元 岡崎市  
発行日 2025年3月  
企画・編集 株式会社都市機能計画室  
デザイン neucitora

問い合わせ先:  
岡崎市まちづくり推進課  
QURUWA戦略係

tel: 0564-23-7421  
mail: quruwa@city.okazaki.lg.jp  
web: https://quruwa.jp



LINE

Instagram